

経済動向調査のまとめ

令和3年度 第1四半期 (4月～6月)

1. 兵庫県の景気動向

(令和3年7月28日発表 産業労働部政策労働局産業政策課による兵庫県の経済・雇用情勢を集約)

① 景況

現状 (良い-悪い) 構成比 (%ポイント)

区分	R2.9月	R2.12月	R3.3月	R3.6月(現在)	R3.9月(予測)
全産業	▲31	▲19	▲10	▲7	▲11
大企業	▲22	▲9	7	14	9
中堅企業	▲21	▲17	▲9	▲11	▲13
中小企業	▲39	▲26	▲19	▲16	▲20
うち製造業	▲37	▲23	▲6	▲5	▲10
うち非製造業	▲23	▲15	▲14	▲10	▲13

(出所) 県内企業短期経済観測調査 (日本銀行神戸支店)

企業の業況判断は、持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さが残る。

② 需要

項目	R1年度	R2年度	R3.2月	3月	4月	5月	6月
商業販売額:億円 (前年度比増減率%) (前々年度比増減率%)	17,753 (+ 0.9)	17,960 (+ 1.1)	1,331 (▲ 1.9) (+ 4.0)	1,511 (+ 2.3) (+ 1.2)	1,424 (+ 7.6) (+ 0.5)	1,429 (▲ 0.5) (▲ 1.9)	— (—) (—)
乗用車販売台数:台 (前年度比増減率%) (前々年度比増減率%)	167,298 (▲ 5.4)	152,809 (▲ 8.7)	15,229 (+ 3.1) (▲ 8.7)	19,809 (+ 8.7) (▲ 5.1)	12,018 (+40.0) (▲ 7.4)	10,369 (+58.3) (▲20.5)	12,179 (+15.3) (▲19.0)
新設住宅着工戸数:戸 (前年度比増減率%)	31,567 (▲ 0.7)	30,551 (▲ 3.2)	2,483 (+25.7)	2,400 (▲16.3)	2,620 (▲19.4)	2,245 (▲ 1.8)	— (—)
神戸港輸出額:億円 (前年度比増減率%)	53,652 (▲ 8.4)	49,756 (▲ 8.4)	4,232 (+ 0.5)	5,335 (+10.1)	5,127 (+23.1)	4,279 (+30.7)	5,312 (+43.0)

出所) 商業動態統計 (経済産業省)、新車登録速報 (日本自動車販売協会連合会兵庫県支部)、軽自動車新車届出状況 (兵庫県軽自動車協会)、住宅着工統計 (国土交通省)、神戸港貿易概況 (神戸税関) (商業動態統計調査の前年度比増減率は全店ベース)

項目	29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度(計画)
設備投資額 (前年度比増減率: %) (R27年度比: R27=100)	▲ 8.1 (114.3)	+0.8 (115.2)	▲1.2 (113.9)	+ 2.4 (116.6)	▲ 8.4 (106.8)

(出所) 県内企業短期経済観測調査 (日本銀行神戸支店)

個人消費は、足踏みの動きとなっている。

輸出は、増加している。設備投資は、減少計画にあるものの堅調である。

③ 生産

項目	R1年度	R2年度	R3.1月	2月	3月	4月	5月
鉱工業生産指数:H27=100 (前月比増減率%)	103.8 (▲ 0.1)	93.1 (▲10.3)	96.6 (▲ 3.9)	94.9 (▲ 1.8)	100.6 (+ 6.0)	97.0 (▲ 3.6)	95.0 (▲ 2.1)

(月次は季節調整値、年度は原指数、年度増減率は前年度比較)

(出所) 兵庫県鉱工業指数 (県統計課)

生産は、総じてみれば持ち直している。

④ 雇用

項目	R1年度	R2年度	R3.1月	2月	3月	4月	5月
有効求人倍率(季節調整値):倍	1.38	0.97	0.95	0.94	0.94	0.93	0.94
新規求人数(原数値):人 (前年度比増減率%)	33,517 (▲ 6.9)	26,815 (▲20.0)	28,374 (▲12.3)	27,516 (▲15.3)	29,735 (+ 4.8)	27,159 (+13.8)	23,629 (+ 1.3)
現金給与総額:円 (前年度比増減率%)	312,795 (+ 2.7)	301,652 (▲ 3.6)	256,174 (▲ 4.2)	245,018 (▲ 3.2)	263,300 (+ 0.6)	265,361 (+ 1.1)	263,245 (+ 1.2)

(有効求人倍率の年度値は原数値、現金給与総額の年度値は年平均) (出所) 一般職業紹介状況(厚生労働省兵庫労働局)、毎月勤労統計調査地方調査(県統計課)

有効求人倍率は、大きな変動なし。賃金は弱い動きとなっている。

⑤ 金融

項目	R1年度	R2年度	R3.2月	3月	4月	5月	6月
企業倒産件数:件 (前年度比増減率%)	471 (+10.3)	396 (▲15.9)	19 (▲40.6)	27 (▲22.9)	21 (▲51.2)	21 (+110.0)	41 (▲16.3)
企業倒産負債総額:億円 (前年度比増減率%)	498 (▲13.9)	590 (+18.5)	6 (▲81.9)	34 (+39.7)	13 (▲79.5)	27 (+35.4)	22 (▲32.5)

(出所) 兵庫県企業倒産状況 (東京商工リサーチ神戸支店)

倒産件数は、前年を下回った。

～県内景気の現状についての日本銀行神戸支店のコメント～

管内の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響が引き続きみられているものの、輸出や生産が牽引するも、全体としては持ち直している。

個人消費は、持ち直しの動きが一服している。設備投資は、堅調に推移している。住宅投資は、弱めの動きとなっている。公共投資は、増加している。輸出は、増加している。

こうした中、生産は、緩やかに増加している。一方、労働需給は、有効求人倍率が1倍を下回るなど、感染症の影響により、緩んでいる。雇用者所得は、弱めの動きとなっている。消費者物価(除く生鮮食品)は、前年を下回って推移している。

(令和3年7月12日 日本銀行神戸支店「管内金融経済概況」)

2. 地域における景気動向

但陽信用金庫 景気動向調査レポートより (2021年4~6月期)

(回答企業 437社) (回答率 98.87%)

概況(全業種)	(437社) 全地域			(178社) 東播磨地域			(149社) 姫路地域			(87社) 朝来・神崎地域			
	2021年1月~3月期	2021年4月~6月期(今回)	2021年7月~9月期(予想)	2021年1月~3月期	2021年4月~6月期(今回)	2021年7月~9月期(予想)	2021年1月~3月期	2021年4月~6月期(今回)	2021年7月~9月期(予想)	2021年1月~3月期	2021年4月~6月期(今回)	2021年7月~9月期(予想)	
業況D.I.	▲ 31.51	▲ 24.31	▲ 24.83	▲ 36.16	▲ 22.47	▲ 27.53	▲ 25.83	▲ 30.41	▲ 25.17	▲ 31.03	▲ 21.84	▲ 19.54	
売上額D.I.	▲ 25.80	▲ 18.54	▲ 14.91	▲ 29.94	▲ 22.47	▲ 21.35	▲ 21.85	▲ 24.83	▲ 14.19	▲ 26.44	▲ 5.75	▲ 9.20	
収益D.I.	▲ 25.80	▲ 15.33	▲ 15.40	▲ 31.64	▲ 20.79	▲ 23.03	▲ 18.54	▲ 21.48	▲ 13.51	▲ 28.74	▲ 5.75	▲ 11.63	
資金繰りD.I.	▲ 2.28	▲ 0.46	▲ 1.61	▲ 3.95	▲ 3.37	▲ 4.49	0.66	▲ 3.36	0.00	▲ 4.60	3.45	▲ 2.33	
前期比残業時間D.I.	▲ 18.26	▲ 8.92	▲ 8.03	▲ 23.16	▲ 10.67	▲ 11.80	▲ 22.52	▲ 10.74	▲ 6.04	▲ 8.05	▲ 6.90	▲ 8.14	
人手過不足D.I.	▲ 12.56	▲ 12.59	▲ 13.53	▲ 8.47	▲ 10.11	▲ 9.55	▲ 17.22	▲ 12.08	▲ 14.77	▲ 9.20	▲ 6.90	▲ 9.30	
前年同期比	売上額	▲ 36.76	▲ 13.76	-	▲ 37.85	▲ 16.85	-	▲ 33.11	▲ 17.57	-	▲ 43.68	▲ 1.15	-
	収益	▲ 36.76	▲ 14.45	-	▲ 37.29	▲ 20.22	-	▲ 30.46	▲ 12.84	-	▲ 47.13	▲ 8.05	-

調査の概況

[2021年4月~6月期実績] : 全地域の景況感は依然低迷しているものの、若干持ち直しが見られる。

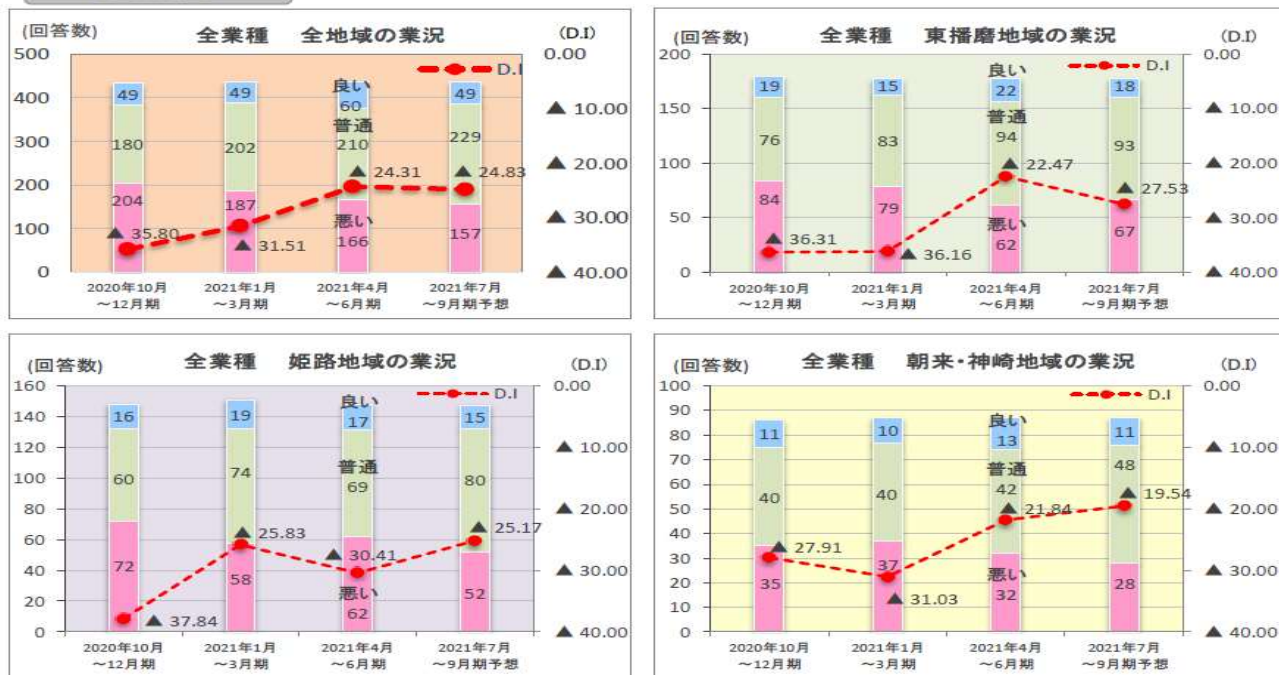
当期の全地域・全業種における業況D.I.は▲24.31と、前期比7.2ポイント改善し、厳しい状況ながら、前期に続き2020年4~6月期以降4期連続の改善となりました。地域別では、東播磨地域、朝来・神崎地域で改善が見られますが、姫路地域はやや悪化しています。また、業種別では、全体的に依然として厳しい状況が続いていますが、製造業・不動産業・小売業・卸売業が上向き、コロナウイルスの影響が大きいサービス業や建設業は低下しています。人手過不足D.I.は、▲12.59と前期から0.03ポイント低下し、依然厳しい水準となっています。地域別では東播磨地域は低下しているものの、姫路地域と朝来・神崎地域では人手不足感が若干緩和しています。

[2021年7月~9月期予想] : 全地域で若干の景気悪化が予想されるも、姫路地域、朝来・神崎地域では回復の見通し。

来期の全地域・全業種における予想業況D.I.は▲24.83で、今期から0.52ポイント悪化する予想です。地域別では、東播磨地域が悪化予想、姫路地域、朝来・神崎地域が改善予想になっています。また、業種別ではサービス業・不動産業・卸売業が改善、建設業が横這い、製造業・小売業が悪化予想となり、人手不足D.I.は、▲13.53と0.94ポイント悪化すると予想されています。これは調査時に緊急事態宣言が延長されていたことから、来期の景況予想が不透明な状況下であり、先が見えず模索している状態とみられます。

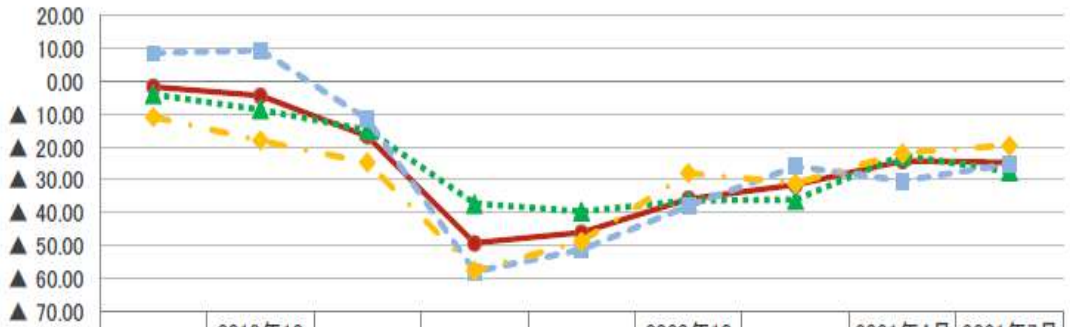
6月21日に緊急事態宣言からまん延防止等重点措置に移行しましたが、引き続き対象地域では営業時間や入場規制など制限がかかっており、経済活動に影響を与えています。また、大規模接種会場や職域接種などで、新型コロナウイルスのワクチン接種が本格化し、感染終息への期待が高まる一方で、感染力の強いインド株の感染拡大や、感染者数が増加に転じてオリンピック開催を迎えることなど、第5波への懸念がぬぐい切れない状況になっています。

地域別業況



地域別業況の推移

全業種 地域別業況判断(D.I)



	2019年7月 ~9月期	2019年10月 ~12月期	2020年1月 ~3月期	2020年4月 ~6月期	2020年7月 ~9月期	2020年10月 ~12月期	2021年1月 ~3月期	2021年4月 ~6月期 (今回)	2021年7月 ~9月期 (予想)
● 全地域	▲ 1.63	▲ 4.46	▲ 16.63	▲ 49.31	▲ 46.01	▲ 35.80	▲ 31.51	▲ 24.31	▲ 24.83
▲ 東播磨地域	▲ 4.00	▲ 8.52	▲ 14.79	▲ 37.29	▲ 39.66	▲ 36.31	▲ 36.16	▲ 22.47	▲ 27.53
▲ 姫路地域	8.55	9.46	▲ 11.56	▲ 58.00	▲ 51.32	▲ 37.84	▲ 25.83	▲ 30.41	▲ 25.17
▲ 朝来・神崎地域	▲ 10.84	▲ 18.07	▲ 24.71	▲ 57.65	▲ 48.84	▲ 27.91	▲ 31.03	▲ 21.84	▲ 19.54

業種別業況

